

コロナの時だからこそ一度立ち止まって考えたい！

援助付き雇用・IPSモデルの価値

Hope, Work and Optimism

JIPSA

オンライン研修会の趣旨

精神保健福祉士、作業療法士、看護師、公認心理師などの教科書に出てくる就労支援は、「援助付き雇用・Individual placement and support (IPS)」。でも実際にはなかなかお目にかかれない天然記念物。IPSの仲間や理解者を増やしたい一心で、オンライン研修を企画してみました。内容は熟練者向けではなく、援助付き雇用・IPSを知りたい人向けです。

事務局・担当

一般社団法人ルンアルン
池田真砂子

お電話での問い合わせ
は対応できません。

jipsa.higashinohon@gmail.com

主催

日本IPSアソシエーション
<https://jipsa.jp/>

1. 開催方法

- オンライン (zoom)
- 参加者100名まで (事前登録が必要です)
- 無料

2. 開催日程

- 2021年3月21日 14:00-16:30

3. 申し込み方法

- 下記、メールアドレスに参加の申し込みの旨をお伝えください。

jipsa.higashinohon@gmail.com

(池田真砂子 宛)

- 申し込み締め切り 2021年3月10日

4. タイムスケジュール

14:00 挨拶

14:05 援助付き雇用・IPSとは？：

立ち止まって考えたからこそ見えてきたもの

(西川病院 医師 林輝男)

14:20 実践すると何が良い？何が大変？【福祉機関編】

(就労支援事業所コンポステラ 船本修平)

14:35 実施したら何がよい？何が大変？【医療機関編】

(慈雲堂病院 精神科デイケア 佐藤江美)

14:50 利用者の声 (当事者)

15:05 エビデンス：データを集めてみたらわかること

(国立精神・神経医療研究センター 研究員 山口創生)

15:15 休憩

15:30 意見交換：何が援助付き雇用・IPSの障壁なのか？

指定発言：本多俊紀 (NPO法人コミュネット楽創 理事)

中原さとみ (桜ヶ丘記念病院 精神保健福祉士)

16:30 終了 (多少前後する可能性あり)